

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	倉敷工業高等学校			所在地	倉敷市老松町4丁目9-1		
敷地面積	45,005.15 m ²			棟数	80 棟 (計画記載対象 23 棟)		
延床面積	23,768.29 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 6弱		津波 ー		浸水 1.0~2.0m未満			
建築規制	市街化区域、第二種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	550,369 kwh	13,364 m ³	7,874 m ³	7,507 0			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 倉敷市指定緊急避難場所・指定避難所(土砂災害、高潮、地震、津波)						

1 施設内建物の概況

名称	機械科棟(106-1棟)56-1	機械科棟(106-2棟)56-2	電気科(123棟)59
築年(西暦)	1974年	1981年	1979年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	1,346.20 m ²	654.00 m ²	762.33 m ²
延床面積	2,375.80 m ²	654.00 m ²	2,287.00 m ²
主要な用途 (室名等)	溶接実習室 原動機実習室 機械加工実習室	パソコン教室 材料試験実習室 工業計測実習室	電気機器実習室 電気工事实習室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	給排水設備	給排水設備	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室(136棟)64-1	普通教室(138棟)64-2	昇降口棟(144棟)67
築年(西暦)	1983年	1984年	1987年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	221.15 m ²	165.60 m ²	143.40 m ²
延床面積	890.24 m ²	661.70 m ²	273.92 m ²
主要な用途 (室名等)	電子機械科実習室 普通教室	多目的教室 普通教室	昇降口
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消火設備	消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 消防設備(自動火災報知設備)	屋根	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(145棟)64-3	特別教室棟(146棟)64-4	おいまつ会館(151棟)74-1
築年(西暦)	1987年	1988年	1989年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	203.63 m ²	195.66 m ²	475.86 m ²
延床面積	814.50 m ²	586.98 m ²	989.90 m ²
主要な用途 (室名等)	合併教室 物理教室 美術教室	生物・地学教室 化学教室 書道教室	食堂
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	繊維科棟(155棟)73	実習棟(工業化学科)(159棟)79-1	実習棟(工業化学科)(160棟)79-2
築年(西暦)	1992年	2000年	2002年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	746.78 m ²	218.15 m ²	182.00 m ²
延床面積	1,825.69 m ²	654.95 m ²	546.30 m ²
主要な用途 (室名等)	織物製造実習室 機械・電気実習室 繊維染色加工実習室	設備管理実習室 単位操作実習室 分析化学実習室	プラント実習室 新素材実習室 バイオ実習室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	適	適
長期使用の 適否	適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	屋内運動場(78棟)42	柔剣道場(79棟)74-2	普通教室、特別教室(79棟)45-1
築年(西暦)	1962年	1993年	1965年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 1階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	1,332.78 m ²	378.97 m ²	214.51 m ²
延床面積	1,662.12 m ²	378.97 m ²	643.54 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	柔道場 剣道場	進路指導室 女子更衣室 会議室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	精密機械教室(80棟)43-1	精密機械教室(81棟)43-2	精密機械教室(82棟)43-3
築年(西暦)	1964年	1965年	1966年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	198.41 m ²	200.96 m ²	396.92 m ²
延床面積	396.83 m ²	401.91 m ²	396.92 m ²
主要な用途 (室名等)	FA実習室 放電加工実習室 シーケンス実習室	機械加工実習室 計測実習室 電気実習室	製図室 CAD実習室 電子制御実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	不適	不適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	本館及び教室(85棟)45-2	教室(86棟)47-1	教室(87棟)47-2
築年(西暦)	1969年	1970年	1970年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	374.90 m ²	131.04 m ²	156.96 m ²
延床面積	1,659.26 m ²	524.16 m ²	627.84 m ²
主要な用途 (室名等)	校長室 事務室 職員室	普通教室 多目的教室	普通教室 多目的教室 選択教室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	クラブ活動用部室(90棟)48-2	寄宿舎(104棟)55-1	
築年(西暦)	1971年	1974年	
構造	鉄筋コンクリート造 1階	鉄筋コンクリート造 3階	
建築面積	283.38 m ²	437.86 m ²	
延床面積	283.38 m ²	1,094.94 m ²	
主要な用途 (室名等)	部室	寄宿舎	
主要な設備 (屋外を含む)	-	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	
利用状況	高	低	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果 I_s 値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
機械科棟(106-1棟) 56-1	長寿命化改修を行う。
機械科棟(106-2棟) 56-2	長寿命化改修を行う。
電気科(123棟)59	設備等の定期更新を行う。
普通教室(136棟)64-1	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
普通教室(138棟)64-2	設備等の定期更新を行う。
昇降口棟(144棟)67	予防保全を図る。
特別教室棟(145棟) 64-3	設備等の定期更新を行う。
特別教室棟(146棟) 64-4	設備等の定期更新を行う。
おいまつ会館(151棟) 74-1	予防保全を図る。
繊維科棟(155棟)73	予防保全を図る。
実習棟(工業化学科) (159棟)79-1	予防保全を図る。
実習棟(工業化学科) (160棟)79-2	予防保全を図る。
屋内運動場(78棟)42	予防保全を図る。
柔剣道場(79棟)74-2	予防保全を図る。
普通教室、特別教室 (79棟)45-1	予防保全を図る。
精密機械教室(80棟) 43-1	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
精密機械教室(81棟) 43-2	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
精密機械教室(82棟) 43-3	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
本館及び教室(85棟) 45-2	予防保全を図る。
教室(86棟)47-1	長寿命化改修を行う。
教室(87棟)47-2	長寿命化改修を行う。
クラブ活動用部室(90 棟)48-2	予防保全を図る。
寄宿舍(104棟)55-1	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(106-1棟、106-2棟)2024年度以降設計・施工
(86棟、87棟)2023年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
機械科棟(106-1棟)56-1	長寿命化改修								設計・施工 4		
機械科棟(106-2棟)56-2	長寿命化改修								設計・施工 106-1棟に含		
電気科(123棟)59	設備等の定期更新							屋上防水			
普通教室(136棟)64-1	設備等の定期更新		屋上防水			トイレ洋式化					
普通教室(138棟)64-2	設備等の定期更新		屋上防水								
昇降口棟(144棟)67	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟(145棟)64-3	設備等の定期更新		屋上防水								
特別教室棟(146棟)64-4	設備等の定期更新						屋上防水				
おいまつ会館(151棟)74-1	予防保全		予防保全を図る。								
繊維科棟(155棟)73	予防保全		予防保全を図る。								
実習棟(工業化学科)(159棟)79-1	予防保全		予防保全を図る。								
実習棟(工業化学科)(160棟)79-2	予防保全		予防保全を図る。								

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
屋内運動場(78棟)42	予防保全		予防保全を図る。								
柔剣道場(79棟)74-2	予防保全		予防保全を図る。								
普通教室、特別教室(79棟)45-1	予防保全		予防保全を図る。								
精密機械教室(80棟)43-1	予防保全		予防保全を図る。								
精密機械教室(81棟)43-2	予防保全		予防保全を図る。								
精密機械教室(82棟)43-3	予防保全		予防保全を図る。								
本館及び教室(85棟)45-2	予防保全		予防保全を図る。								
教室(86棟)47-1	長寿命化改修							設計・施工 2			
教室(87棟)47-2	長寿命化改修							設計・施工 86棟に含			
クラブ活動用部室(90棟)48-2	予防保全		予防保全を図る。								
寄宿舍(104棟)55-1	予防保全		予防保全を図る。								

4. 概算費用

総額 6億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.11	普通教室(136棟)において、設備等の定期更新を追加
R4.3	特別教室棟(146棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R5.3	電気科(123棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを追加
R6.3	機械科棟(106-1,106-2棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更